

農作物生育・技術情報1号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稲の生育状況（5月15日現在）

●生育状況調査（中苗：ななつぼし）

区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m ²)	遅速 日数	摘要
R6年	13.3	3.3	—	+2	生育の遅速は平年並
平年値	9.5	2.7	—		
差	+3.8	+0.6			

(1) 育苗管理

- ① 葉数2.5葉期以降にハウス内温度が25℃を超えると、早期異常出穂（不時出穂）が発生しやすくなるため、育苗後半は高温になりすぎないように温度管理しましょう。特に成苗ポットは温度上昇しやすいので注意が必要です。
- ② 移植時の目標葉数は、成苗はゆめぴりかで3.6～4.0葉、ななつぼしで3.6～4.3葉です。中苗箱マットは3.1葉から移植しましょう。
- ③ 育苗後半は降霜や強風に注意しつつ、夜間も解放するなどハウスの換気を十分に行い、苗の充実と硬化に努めましょう。
- ④ やむをえず育苗日数が長くなり老化苗が懸念される場合（成苗、中苗とも、は種から移植までの日数が35日以上になる場合）は、必要に応じ追肥を検討しましょう。

(2) 移植

- ① 植付深が1.5～2.0cmになるよう必ず確認して調節を行い、苗の活着と分けつを促進させましょう。
- ② 活着や分けつの善し悪しは水温に左右されます。活着限界温度は11～13℃とされています。水温を確保するため、入水は夜間から早朝に行い、日中は止水にしてください。
- ③ 低タンパク米生産に向け、栽植密度は中苗25株/m²以上、成苗22株/m²以上としましょう。

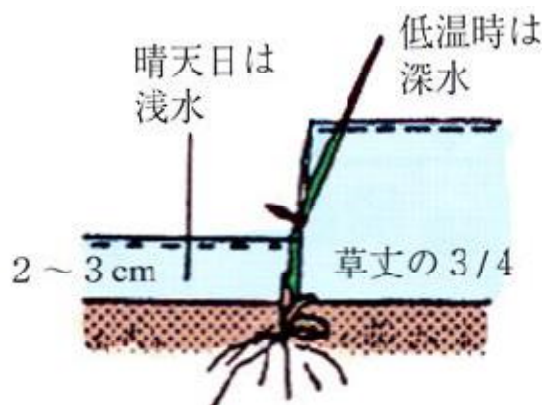


図 水深の目安

2 畑作物の栽培管理

- (1) 秋まき小麦の止葉期追肥は粒重、タンパクの充実に重要になります。

【施肥窒素量】「ゆめちから」

止葉期追肥量目安：6 kg/10a（硫安30kg/10a）

※上位茎数が900本/m²を超える場合 → 4 kg/10a程度に抑える

- (2) 豆類：は種作業

地温10℃以上確保でき、降霜の恐れがなくなったらは種時期です。晩霜に注意しつつ、適期は種に努めましょう。

3 主要野菜の生育状況と技術対策

○ 生育状況や草勢にあわせた追肥とかん水管理をしましょう。

作物名	生育状況(5月15日現在)	技術対策
トマト	3月定植 ・1段果房収穫中。6～7段開花。 ・尻腐れ果および黄変果が見られる。 ・一部ほ場でアザミウマ類の被害が見られる。 4月定植 ・4～5段花房開花中。	・尻腐れ果は見つけ次第、速やかに摘果する。少量多かん水やカルシウム資材の葉面散布を実施する。 ・黄変果対策として、果実に直射日光が当たらないよう、葉で覆う(リーフカバー)。
軟白ながねぎ	・12月定植収穫中。	・アザミウマ類の発生に注意する。薬剤は十分かかるよう散布し、ローテーション防除する。
ハウス立茎アスパラガス	・立茎移行期。	・粘着板を設置しアザミウマ類の早期防除に努める。 ・ハウス内外の除草(タポポ、白クローバなど)を徹底する。
かぼちゃ	・定植準備～定植中。	・地温確保のため、施肥やマルチの被覆は、定植7日前までに行う。 ・定植ほ場の地温は、深さ15cm程度で最低15℃以上を確保する。

4 牧草生育状況(5月15日現在)

作物名	生育状況			遅速日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項 目	R6年	平 年		
牧草(苜蓿)	草丈(1番草)	34.3cm	31.4cm	+3	生育の遅速は平年よりやや早い

ギンギンの発生状況により、除草剤防除ガイドを遵守して、全面処理または局所処理を行いましょう。

5 サイレージ用とうもろこし作業状況(5月15日現在)

作物名	農 作 業 状 況			遅速日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項 目	R6年	平 年		
とうもろこし100日クラス	は種始	5月9日	5月10日	+1	は種作業は平年並
	は種期	5月15日	5月16日	+1	

ほ場条件や発生雑草等を把握し、用途にあった除草剤を選定し、計画的・適切に使用しましょう。近年、つる性の雑草(ガガイモ等)が増えているほ場が見受けられます。土中からの発芽を抑えるために、除草剤の生育処理と共に土壌処理を検討しましょう。

<代表的なサイレージ用とうもろこし除草剤の使用法・時期>

商品名	使用方法	使用時期	10aあたり使用量
モーティブ乳剤	土壌処理	は種後～2葉期まで	200～400ml
ゲザプリムフロアブル	土壌処理	は種後～出芽前	100～200ml
	茎葉処理	2～4葉期	100～200ml
ゲザノンゴールド	土壌処理	は種後～出芽前	140～200ml
	雑草茎葉処理	2～4葉期	140～200ml
アルファード液剤	雑草茎葉処理	3～7葉期 (一年生雑草・イチビ含む)	100～150ml
ブルーシアフロアブル	雑草茎葉処理	3～5葉期	40～50ml
		(イチビは6～7葉期)	50～75ml